

## 実質化された人・農地プラン

注:本様式は参考ですので、地域の話合いの結果に応じて、積極的に記載する項目を追加してください。

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
宇部市	二俣瀬地区(車地北集落)	令和2年2月18日	

## 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	27.01ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	16.37ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	17.69ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	3.1ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	10.63ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	7.4ha
(備考)	

## 2 対象地区の課題

高齢化や後継者不足により、離農する者が増え、結果、耕作放棄地が増えることとなっている。守らなければいけない農地については中心経営体を中心に管理していく必要がある為、人材や、農機具を増やすことにより農地集積を行っていきたい。  
また、中心経営体以外の農業者においても、多面的機能支払交付金などを活用し、農地を管理していく必要がある。

注:「課題」欄には、「現状」を基に話合いを通じて提示された課題を記載してください。

## 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

二俣瀬車地北集落の農地利用は、中心経営体である担い手が担っていくほか、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進することにより対応していく。

## 4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

## ○作物生産に関する取組方針

山田錦の栽培適期に効率的に作業を行うために、高性能な田植機やコンバイン、乾燥調製設備を導入する。また、乾燥調製設備の高度利用を行うために、小野、二俣瀬、厚東地区で活動している集落営農法人等の山田錦の乾燥調製及び生産物の保管の作業を受託していく。

また、元気ブランドゴールド認証製品の増産に必要な原料(山田錦)を供給していくため、農地集積を進め、作付け面積を増やしていく。

## ○鳥獣被害防止対策への取組方針

ワイヤーメッシュ柵や電気柵を設置し、農地の防除を行うほか、地元猟友会と連携し、罟等により有害鳥獣の捕獲を行う。